

第8回（平成20年度）IODP部会・執行部会 議事録（案）

日時：2009年2月16日（月） 14：30～17：30

場所：文部科学省 研究開発局海洋地球課 17階1会議室

出席者（敬称略）

執行部：川幡穂高（東京大学）阿波根直一（北海道大学）荒井晃作（産業技術総合研究所）
井上麻夕里（東京大学海洋研究所）北村晃寿（静岡大学）小平秀一（海洋研究開発機構）
坂本竜彦（海洋研究開発機構）松本 剛（琉球大学）

文部科学省海洋地球課 : 堀 正彦
海洋研究開発機構 国際課 : 肥田慎司
海洋研究開発機構 CDEX : 川村善久 江口暢久

事務局：中山敦志 加賀谷一茶 梅津慶太*

*議事録(案)作成

欠席者（敬称略）

執行部：安間 了（筑波大学）山崎俊嗣（産業技術総合研究所）
池原 実（高知大学海洋コア総合研究センター）高澤栄一（新潟大学）日野亮太（東北大学）
山田泰広（京都大学）山本啓之（海洋研究開発機構）

議事次第

1. 乗船研究関連
 - ・Exp.324 Shatsky Rise ノミネーション報告
 - ・各航海乗船研究者追加募集状況
 - ・スケジュール等
2. SAS パネル関連
 - ・SASEC 会議報告
 - ・Council 会合報告
 - ・SPC 後任委員選出
 - ・PMO 会議に向けて(3/20)
3. 学術交流関連
 - ・成果公表助成申請状況
 - ・J-DESC シンポジウム開催に向けて
 - ・「地球掘削科学」セッション投稿状況報告
 - ・IODP-ICDP タウンホールミーティング開催検討
4. INVEST 関連
 - ・全体 WS 開催報告
 - ・まとめ状況
5. 次期執行部体制について
6. J-DESC 総会関連
 - ・議事次第案
 - ・今年度予算執行状況報告ならびに来年度予算案
7. その他
 - ・次回執行部会日程 等

議事録

1. 乗船研究関連

- Exp.324 Shatsky Rise ノミネーション報告
- 各航海乗船研究者追加募集状況
- スケジュール等

事務局より資料 1-1、1-2、追加資料に基づき、上記の項目について報告がなされた。

- Shatsky Rise は 7 名をノミネーションした
- その他の追加公募が行われている航海については、New Jersey が 4 名中、3 名の応募があった
- Co-chief から、フィリピン在籍のフィリピン人研究者を乗船させたいとの申し出があったが、1) 締め切り後であったこと、2) 日本から十分なアプリケーションがあることを考慮し、掘削航海専門部会の判断により断った
- New Jersey は依然として Paleomagnetist を募集中
- Canterbury は 2 名の追加公募を出し、2 名の応募があった

乗船者募集に関して下記のような意見があった。

- 専門が決められて公募がかかると集まりにくくなってしまふ
- 次期執行部の課題として、韓国との連携を密にすることが考えられる
- Co-chief が責任を持って乗船者を集めることをしないとなかなかうまくいかない
-

次に、事務局及び坂本委員よりプレクルーズトレーニングについて説明がなされた

- Bering に関して前回のプレクルーズトレーニングからだいぶ予定が変更されたため、再確認のためにももう一度開催したい
- 今回は集中的に議論を行うため合宿形式で行う

Bering 航海のプレクルーズトレーニングに関して異議はなく承認された。

2. SAS パネル関連

- SASEC 会議報告

川幡部会長より資料 2-1 に基づき、標記の件について報告がなされた。

- 1/18~21 にリスボンにて SASEC 開催
- 予算作成と執行、ワークショップ及びテーマごとのレビュー、掘削計画の更新、臨時委員会の報告、勧告、IODP 外部の活動について報告・検討された

- Council 会合報告

堀企画官より標記の件について報告がなされた。

- 2013 年以降の IODP の継続に関して議論する場を設けることが、Council 会合と MEXT-NSF 会合にて合意された
- その結果、次回の Council (6 月) に並行して「IWG+」を開催することが合意された
- IWG+ は現在のドナーに加え、ポテンシャルドナー、IO の代表、IODP-MI、リエゾンとして SASEC の議長 (調整中) で構成される
- 1 オフィスで日本に本部を置くことが検討され始めているが、問題もある
- MEXT としては日本にオフィスがあることが、どれほどメリットがあることなのかを聞きたい

- SPC 後任委員選出

事務局および川幡部会長より資料 2-3 に基づき標記の件について説明がなされた

- 1 名の新規委員 (丸茂委員の後任) を選出する必要がある
- 海野氏、木下氏 (alternate として)、金松氏の順に委員就任を打診することが合意された
- SPC 委員 1 名から J-DESC 会長宛の辞表提出があった
- これについては、SPC 委員の就任・辞任の取り決め等を再確認するため、SPC の Terms of Reference や J-DESC 規約を会議後、事務局より執行部に流し、メールにて検討を行うことが合意された
- 検討終了まで辞表は部会長預かりとなった

- PMO 会議に向けて (3/20)

事務局より資料 2-4 に基づき、標記の件について説明がなされ、プレゼン資料に下記の項目を盛り込むことが合意された。

- INVEST 国内ワークショップ
- 乗船者 Nomination リスト

3. 学術交流関連

・成果公表助成申請状況

事務局より標記の件について報告がなされた

- ・ 現在 5 件ほどの応募がある
- ・ 2/28 まで募集
- ・ 助成の条件が把握できず、著者間で調整がないままの応募もあった
Shipboard Scientific Party としての申請も受け付けることが合意された。

・J-DESC シンポジウム開催に向けて

阿波根部会長補佐より資料 3-1 に基づき、標記の件について報告がなされた。

- ・ 東京大学の木村 学氏、名古屋大学の井龍康文氏、鹿児島大学の小林励司氏から講演の承諾をいただいた
- ・ 木村氏から、今後の方向性など、総括的な話を入れるべきだとのコメントがあった
阿波根氏が総括的な話を行うことが合意された。

・「地球掘削科学」セッション投稿状況報告

井上委員より資料 3-2 に基づき、標記の件について報告がなされた。

- ・ 13 日 12 時〆切時には、投稿数は 27
- ・ 今後コマ数の割り当て、プログラム編成が行われる予定

・IODP-ICDP タウンホールミーティング開催検討

- ・ 今年度も地球掘削科学セッションに日程を合わせて開催する
- ・ ポスター発表のコアタイムと重ならないように日時を調整する
- ・ まだ確定ではないが、IODP-MI と NSF からゲストスピーカーとして来訪する可能性もある
- ・ 昨年度は開催を知らなかった人も多かったため、事前宣伝の改善が必要

川幡部会長よりタウンホールミーティング時に、堀企画官にご講演をいただきたい旨のお願いがなされ、ご承諾された。

4. INVEST 関連

・全体 WS 開催報告

・まとめ状況

川幡部会長より、標記の件について報告がなされた。

- ・ 1/12、2/15 に全体ワークショップを開催した
- ・ Paleoenvironment および Deep Biosphere については特段の問題はない
- ・ Earth's Interior は Mohole に関する具体的な方向性(案)を示したことは一つの収穫
- ・ Geohazard は主に Scientific に何が知りたいのかについてももう少しつめる必要があり、まず IFREE 内、さらに JAMSTEC 内で検討を行い、その後コミュニティーとの調整を行うべき
- ・ 9 月の INVEST までにまた全体ワークショップを開催する予定

5. 次期執行部体制について

川幡部会長および事務局より資料 4 に基づき、標記の件について説明がなされた。

- ・ 次期執行体制は今期より 1 名減の 16 名
 - ・ 3 月には他の PMO や IO に新体制を知らせる
 - ・ 事務局においてもコンタクトパーソンを決める必要がある
- 下記の点が次期執行部への申し送り事項として合意された。

- ・ これまでの IODP 活動への支援・推進に関するレビュー
- ・ 乗船者への研究費の支給
- ・ 乗船者の確保
- ・ 2013 年以降の IODP 継続について

6. J-DESC 総会関連

・議事次第案

川幡部会長および事務局より資料 5-1 に基づき、標記の件について説明がなされ、特に異論はなく議事次第案は原案のまま承認された。

・今年度予算執行状況報告ならびに来年度予算案

事務局より標記の件について、資料 5-2 に基づき説明がなされ、下記の点が合意された。

- ・ 来年度は INVEST への学生派遣のための予算を計上する
- ・ 成果公表助成の予算額を 40 万から 50 万円に増額する(今年度余った分は来年度に繰越)
- ・ 3/20 までに予算を承認する

7. その他

・次回執行部会日程 等

- ・ 次回は 3 月 24 日